

CentreCOM® RE1000Plus/RE1000

インストールマニュアル NetWare 5

アライドテレシス(株)

本書は、CentreCOM RE1000Plus/RE1000シリーズLANアダプター(以下本製品と略します)のドライバーをNetWare 5のMS-DOSクライアントにインストールする手順を説明したものです。詳細は、ドライバーディスクに収録されている「¥readme.odi」をご覧ください。

1 ドライブ名

以下の説明では、CD-ROMドライブ「Q:」、フロッピーディスクドライブ「B:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブ「A:」と仮定します。

必ずしも、この通りではありません。実際にご使用のコンピュータでご確認になり、ドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものに読み替えてください。

2 MS-DOS クライアントドライバー

本製品のODIドライバー「RE1000.COM」のインストールは、NetWareのクライアントインストールプログラムを使用して行います。ここでは、DOS環境でNetWare 5のCD-ROMからインストールする方法を説明します。その他の場合は、「ベーシック/インストールマニュアル」を参照してください。

2.1 準備

• CentreCOM RE1000Plus の場合

本製品をコンピュータに取り付け、ハードウェア設定プログラム(CFG1000.EXE)を使用して、I/Oアドレス、インタラプト(IRQ)の設定を行ってください。更に、ハードウェア診断プログラム(ETHDIAG.EXE)を使用し、設定したI/Oアドレス、インタラプトで本製品が動作することを確認してください。設定したI/Oアドレス、インタラプトの値は記録しておいてください。ドライバーのインストールのときにこの値を使います。

• CentreCOM RE1000 の場合

本製品をコンピュータに取り付け、本製品の背面にあるI/Oアドレス設定スイッチでI/Oアドレスの設定を行ってください。次に、ハードウェア診断プログラム(ETHDIAG.EXE)を

使用し、設定したI/Oアドレスとインタラプトを引数として指定し、本製品が動作することを確認してください(本製品にはインタラプトを設定するスイッチはありません。インタラプトの設定はハードウェア診断プログラムやドライバーの引数で指定します)。設定したベースI/Oポート、インタラプトの値は記録しておいてください。ドライバーのインストールのときにこの値を使います。「I/Oアドレス設定スイッチ」の番号とベースI/Oアドレスの対応を下記に示します。

番号	I/O アドレス
0	00D0(デフォルト)
1	01D0
2	00D2
3	01D2
4	00D4
5	01D4
6	00D6
7	01D6
8	00D8
9	01D8
A	00DA
B	01DA
C	00DC
D	01DC
E	00DE
F	01DE

2.2 インストール

- (1) NetWare 5のCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れ、INSTALL.BATコマンドを入力します。

```
A:¥>Q:  
Q:¥>install PC98
```

- (2) NetWare 5クライアントインストーラの画面にしたがって、お客様がお使いの環境にあった設定をしてください。
- (3) NetWare 5クライアントインストーラの画面にしたがって、設定を進めていくと、「LANドライバタイプを選択してください」のメッセージが表示されますので、「16ビットLANドライ

バ」を選択します。

- (4) 「16ビットLANドライバ」一覧が表示されますので、「USER SPECIFIED 16-BIT DRIVER」を選択し、「Enter」キーを押します。

- (5) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、NetWare 5用ワークステーションドライバが格納されているパスを指定し、「Enter」キーを押します。

B:¥NW500

- (6) リスト一覧に、「CentreCOM RE1000Plus」または「CentreCOM RE1000」が表示されますので、これを選択し、「Enter」キーを押します。

- (7) 続いて、CentreCOM RE1000Plus LAN DriverまたはCentreCOM RE1000 LAN Driverの設定をします。以下の3項目について、お客さまの環境に合わせた設定(選択)を行い、設定が終わったらF10キーを押します。

・ベースI/Oポート

あらかじめ準備で記録しておいた本製品が使用するI/Oアドレスをリストより選択します。

・Media Frame Type(s)

使用するフレームタイプを設定します。どのフレームタイプを使用するかは、お使いの環境によりますので、不明な場合はシステム管理者に相談してください。

「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものにおいてデフォルトで使用されるフレームです。

「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 5/4.1xJ/3.12Jにおいてデフォルトで使用されるフレームです。

・Optional Node Address

お使いの環境によって、Node Addressを独自に設定する必要がある場合に入力します。通常ここはなにも設定せず、空欄のままになります。

- (8) LANドライバの設定が終了すると「インストール環境設定の要約」が表示されます。設定内容を確認の上、F10キーを押します。

- (9) NetWare 5クライアント関連ファイルのコピーが開始されず。

- (10) コピー終了後、再起動するよう表示されますので、フロッピーディスクドライブより、フロッピーディスクを抜き、再起動します。以上でNetWare 5クライアントへのドライバのインストールは終了です。

3 インストール結果

NetWare 5クライアントと本製品ドライバのインストールが終了すると、A:¥NOVELL¥CLIENT32(デフォルト)に必要なファイルがコピーされ、STARTNET.BAT、NET.CFGが作成されます。

また、AUTOEXEC.BATにSTARTNET.BATの記述とSET TZ=の記述が追加されます。以下に「RE1000Plus」で作成されたSTARTNET.BAT、NET.CFGの例を示します。例は、「install pc98」の実行でデフォルト値を指定した場合です。弊社のCentreNET PC/TCPなどを使用する場合は、適時NET.CFGをエディタで編集してください。

作成された STARTNET.BAT

```
SET NWLANGUAGE=NIHONGO
A:¥NOVELL¥CLIENT32¥NIOS.EXE
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥NBIC32.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥LSLC32.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥CMSM.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥ETHERTSM.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥RE1000
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥TRANNTA.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥IPX.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥SPX_SKTS.NLM
LOAD A:¥NOVELL¥CLIENT32¥CLIENT32.NLM
```

作成された NET.CFG

```
Link Driver ODI1000
    PORT 0D0
    FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
    FIRST NETWORK DRIVE F
    NETWARE PROTOCOL NDS BIND
    SHORT MACHINE TYPE PC98
    LONG MACHINE TYPE NEC_PC
    RESOLVE NAME USING PRIMARY OFF

NIOS
    LINE DRAW CHARS "

Protocol IPX
    IPX SOCKETS 40
```

「RE1000」の場合は、「Link Driver」セクションが「Link Driver RE1000」となります。また、「RE1000」の場合は「Link Driver」セクションにインタラプト(IRQ)の値を記述しなければなりません。記述しなかった場合、デフォルトとして「INT 3」が使用されます。下記に指定可能なインタラプトの値を示します。INTはPC-9800/PC-9821で使用される値、IRQはNET.CFGで指定する値です。

INT	IRQ(NET.CFG)
0	3
1	5
2	6
5	12

弊社 CentreNET PC/TCP と NetWare 5 の共存環境を構築する場合、フレームタイプに「Frame Ethernet_II」を追加してください。また、NetWare 5/4.1xJ/3.12J と NetWare 3.11J 以前のサーバが混在して存

在する環境では、「Frame ETHERNET_802.3」を追加してください。
フレームに関する記述は、ドライバーディスクに収録されている
NET.CFG のひな形をご覧ください。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

NetWare は米国 Novell の登録商標です。

PC/TCP は米国 FTP Software, Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年2月5日

Rev.A

初版